

令和6年度大網白里市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事要旨

【開催日時】

令和6年12月26日（木） 午前10時00分～午前11時00分

【場所】

中央公民館 1階講義室

【構成員名簿】

所属・役職	氏名	備考
大網白里市商工会 会長	久我 一雄	
山武地域振興事務所 所長	田中 正直	
城西国際大学 教授	渡邊 修朗	
株式会社千葉銀行大網支店 支店長	塚崎 久司	
連合千葉外房地域協議会 議長	織本 幸市	
株式会社千葉日報社東金支局 支局長	森 大輔	
株式会社ちばぎん総合研究所調査部 副部長	観音寺 拓也	
企画政策課 課長	飯高 謙一	事務局
企画政策課 副課長	久保 崇	事務局
企画政策課 主査	齋藤 友康	事務局
企画政策課 主任主事	田邊 正洋	事務局

【議事次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 議題
 - (1) 次期総合戦略（令和7年度～令和12年度）の策定について
 - (2) 企業版ふるさと納税の活用状況について
- 5 その他
- 6 閉会

【資料】

- 資料1 令和6年度大網白里市まち・ひと・しごと創生有識者会議資料
資料2 第3期大網白里市総合戦略 原案
資料3 大網白里市人口ビジョン（令和6年改訂版）原案

【議事の経過】

1. 開 会

(略)

2. あいさつ

(略)

3. 出席者紹介

(略)

4. 議題 (1) 次期総合戦略(令和7年度～令和12年度)の策定について

- 事務局 (本会議の内容について、議事要旨を作成し、公開することを説明。)
(資料1により、本市の現在の人口動態及び将来展望、第2期総合戦略における成果、次期総合戦略について説明。)
- 有識者 資料1の基本目標2の22ページ、圏央道スマートインターチェンジについて、開通して5年半程度経ったが産業用地という意味では活用ができていない。理由として、周辺地域が農業用地であるという事情があるが、何かもう少しうまく活用できるような施策があると良いと思う。
- 事務局 市でもスマートインターチェンジ周辺地域を活用していきたいと考えており、現在、国土交通省の実施しているサウンディング調査に参加し、事業者の方からどういった活用が可能か意見を伺っている。
次期総合戦略においても、引き続き周辺地域の活用に向けて取り組んでいく。
- 有識者 定住人口の前に関係人口を増やす取組が重要となっている。大網白里市に訪れた人には様々な事情があり、市の伝統、文化、環境などの魅力発信を強化していく必要がある。
また、デジタル技術の活用について、高齢化が進行している中でのDXの推進は難しいところ。市民が分かりやすい、利用しやすい形が大切ではないか。
- 有識者 原案(資料2・3)を読むと、ほぼこれで固まりつつあるなというタイミングでの今回の会議で、もう1段階前で開催しなければ、修正意見が言いにくく、方向性を変えることが難しくなってしまう。次期総合戦略が来年度の初めからスタートするとなると、もう少し早く、夏頃から開始して、年に2～3回程度会議を開催する必要があるのではないか。
その中で、デジタル化等々のところで、例えば、8ページ「地域産業活性化の推進」の下に項目があり、3つ目に「デジタル技術を活用したスマート農業や中小企業DX等を推進します。」と書いてはあるが、その下の具体的な事業には、それらしきものが見えてこないという構成が戦略全体に散見される。10ページでも「観光DXの推進により～」とあるが、それらしい事業が見当たらず、それらを具体的にをどうやって進めていくのかというところが見えてこない。

また、DXの推進について、自治体単独でやるのは非常に難しい。職員のスキルや、市民のリテラシーといった部分の問題もあると思うので、その辺りの青写真を描いておく必要もあると思う。

総合戦略の原案としてはこれで良いと思うが、何かもう少し具体的に、こういった形で進めるといった記載は必要ではないか。

DX推進については、庁内の業務効率化のためのDX支援や、住民サービスとしての自治体のDXの事例など、様々な好事例を持っている民間業者と連携や協議をしていかなければ難しいのではないか。

●有識者 資料1の23ページで基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育て～」について、人口を増やす意味でも大変重要なところだと思う。

「医療体制や母子保健を充実させ」と述べているが、この「医療体制」について、総合戦略の中だと具体的な案が無いため、市ではどのように考えているのか。例えば、大網白里市で病院というと例えば大網病院があるが、実際にこの大網白里市で出産して子育てができるのかというところと少し疑問がある。

近隣自治体でもなかなか産婦人科が無い状況で、例えば、山武市と話をすると、成田市まで行って出産しているということを知ると。そういった環境では厳しいのではないか。

総合戦略の中で掲げているのは良いが、その中で、これからの方向性として何か具体的な案があれば聞かせてもらいたい。また、その辺りの具体的な案をしっかりと目標値に入れていくと良いのではないか。この点に関しては、近隣市町村と連携して取り組んでいく必要もあると思う。大網白里市が中心になって率先してやっていけるような状態を作っていただけるとありがたい。

○事務局 以前は産婦人科の誘致という話もあったが、現在、市内から東金市にある東千葉メディカルセンターに通院される方が多くなっているということで、市では、出産しやすい環境づくりとして、不妊治療の助成を開始するなど、母子保健の充実を図り、少子化対策に取り組んでいる。

●有識者 大網白里市に来てもらうためのPRだが、まずもって、残念ながら大網白里市の知名度は全国的にそんなに高くないのではないかと思う。大網白里市を知らない人たちにどうやって市の名前と、地域の雰囲気や環境をPRしていくのか。

今までこういったPR対策は、どのように取り組んでいたのか。

○事務局 観光プロモーションとして観光パンフレットやポスターを作成し、各種イベントに参加するなどPRを行っている。

また、ふるさと納税の寄附者の方に、地場産品や市の魅力を伝えるDMを送付する等、寄附者との継続的な繋がりを持てるよう取り組んでいる。

●有識者 おそらく、来てみれば環境が良いところだというのは分かってもらえると思うが、まずもって、触れて、知る機会がないという点はクリアしなくてはいけない。動画や画像などで「大網白里市」という名前ができるだけ多くの人の目に触れる機会を積極的に発信する必要があるのではないか。

ホームページは、自分から見に来ないといけない。広く一般にプッシュしながら、接点を持ってもらう、見る機会を作ることが第一に必要なではないかと思う。

また、今年は転出超過傾向にあるということで、この辺りの分析はもう終わっているのか。なぜ、逆転してしまったのか。

○事務局 市にはみどりが丘地区という住宅地があり、近年まで順調に人口増加傾向を維持していたが、住宅用地が減り飽和状態となったことで新築件数が減ってきており、これに伴って転出超過傾向に転じたと推測している。

本市の都市計画上、開発可能な土地にかなり制限があり、土地を買って住宅を建てるということが物理的に難しくなっている。今後は空家対策など、既存資源の利活用も必要になると考えている。

○事務局 新築件数の減少については、建築資材の高騰も要因のひとつとして考えている。

●有識者 戸建ての供給については、新たな開発がない限りは見込みにくい。価格については、以前より高くなっているものの、資材の調達は一時期に比べると大分緩和されてきており、建築業者でもそれなりに調達はできている。

都市計画の変更などにはかなりの時間を要すると思うので、説明にあった空き家バンクの活用というのは、一番手っ取り早く、転入者にとって比較的安価に移り住んでいただけのではないかと思う。

今は転入したい人がそれぞれ個別に不動産業者に相談しているような状況だと思うので、窓口の整備というか、その辺りがネットワーク化できると、新たな人を呼び込みやすくなるのかなと感じた。

●有識者 資料2の15ページ、基本目標2 ③魅力発信の強化で、具体的な事業で、「地域交流拠点（道の駅）の整備」とあるが、本当に検討する方向でいくのか。

こういった施設ができれば雇用も生まれるし、大網白里市に人が呼び込むことができると思うが、最近、道の駅は増えてるので、かなり個性を出していかないと厳しいのではないかと。

東金市ではスターバックスの店舗を入れるなど変わったこともしているので、ただポンと作るだけでなく、何か考えていかないと厳しいのではないかなと。

これからどういう検討をしていくのか。

○事務局 現在、道の駅整備検討委員会を立ち上げ、順次話を進めており、来年の4月を目途に、基本構想を公表したいと考えている。整備にあたっては、官民連携を図りながら検討を進めていきたい。

4. 議題 (2) 企業版ふるさと納税の活用状況について

○事務局 (資料1により企業版ふるさと納税の概要、本市における寄附実績・寄附活用事業について説明。)

●有識者 寄附受領の金額は近隣市と比較してどうか。

○事務局 近隣自治体では、千葉市への寄附額が大きいですが、その他の市町とはそこまで大きな差は開いていないのではないかと。

●有識者 せっかく寄附を受領して事業を実施したのだから、事業概要だけでなく、事業の成果も資料に記載した方がよい。

5. その他
(該当なし)

6. 閉会
(略)